NEON GENESIS EVANGELION

TVアニメーションシリーズ

新世紀エヴァンゲリオン（仮題）

企画書

GAINAX

時に、西暦2015年

生物として、もはや進化の行き詰まった人類を救世すべく
発動した『人類補完計画』
その計画を阻止すべく襲来する、正体不明の巨大戦闘兵器群
『使徒』
『天使』の名を冠する彼らは、果たして
『神々の使い』なのであろうか？

『使徒』に抵抗できうる巨大な力を手に入れるべく、人類は
汎用人型決戦兵器『エヴァンゲリオン』を開発
１４年後の今、すでに３体を実用化していた

だが、『エヴァ』の操縦を人々は
『１４歳の少年少女達』に委ねざるを、得なかったのである

人類の存亡を背負う少年たちの戦いが、今、始まる

仮　　題　新世紀　エヴァンゲリオン
　　NEON GENESIS EVANGELION
種　　別　ＳＦアクション連続大河テレビアニメーション
形　　式　毎回３０分
　　全２６話（２クール）予定
視聴対象　小学生、中学生を中心に家族一般

企画・原作　ガイナックス
キャラクター・デザイン　貞本義行
メカニック・デザイン及び
コンセプト・デザイン　山下いくと
脚本・監督　庵野秀明

企画意図

巨大ロボットアニメの魅力とは？

「巨大ロボットアニメ」は、子供たちの潜在欲望の現れであります。
つまり、「巨大ロボットアニメ」とは、
子供達の持つ色々な
抑圧やコンプレックスの補償、抵抗の手段、代償行為なのです。
大人達は、「人が生きることのつらさ」を知っています。
と、同時に「人が生きることのおもしろさ」をも知っています。
生きるために、例え〈嘘〉だとわかっていても
「正義と愛」という〈夢〉や〈希望〉が必要なのだ、と知っています。
私たちはアニメーションという表現手段の特色、つまり、
全てが人の描いた「絵」であるという世界観を生かしたことにより、
子供達に虚構と現実との境界線もなく、ピュアに伝えることができるのです。
それが「巨大ロボットアニメーション」の持つ最大の魅力です。

本企画は、この原点にさかのぼって、
本来の「巨大ロボットアニメ」の魅力を、
新たに掘り起こす所にユニークさを発見したい、と思います。

全体を通してのテーマ

主人公はどこにでもいる、ごく当たり前の少年

従来の巨大ロボットアニメーションではロボットに乗り込む少年は初めから
その才能と適性を持たされています。
その特殊なヒーロー性に子供達はあこがれ、自分と同一視して来ました。

だがしかし、
ある日突然、ふつうの14歳の男の子が「巨大な力」を与えられ、使命を持たされ、
大人の世界に投げ出され、大人になることを強要されたら・・・
これが私たちが主人公に与えたシチュエーションです。
主人公は巨大ロボットの小さな操縦席の中や、家に学校、そして敵との戦いの中という、
カオス的現代社会の中で、観客は主人公と共に悩み、考えていくのです。
「今、自分は何をなすべきか？」ということを、です。

主人公は「子供以上、大人未満」

主人公は、14歳・中学2年生。
この時期は反抗期であり、思春期であり、自我を形成する重要的な時でもあります。
つまり主人公の少年は、今、子供と大人の狭間にいるのです。
当初、優柔不断だった彼は戦いの中、大人の都合、大人たちの意見等に惑わされ翻弄され、
疲されて行きます。
それは膨大な情報の中で生きている、現在の私たち日本人の姿とダブります。
主人公の少年は、自分が一人では何もできない子供だと知り、**[illegible]**を購入、
現実を直視し、成長して行くのです。

本来、大人たちが子供たちに与えなければならないのは、
「自分の意思」や**「ひとりだちできる力」**だと思います。
知識や技術を附与するのもそのためです。
しかし、今、子供たちはテレビの前で一人遊びはできても、現実の中では何もできません。
他のモノへの依存度が強く、マニュアル無しでは、どうすれば良いのかわからないのです。

子供たちは、プレッシャーだらけの「現実」の中で、自分一人では
何もできなくなっています。
このままで、良いのでしょうか？

私たちは、観客である子供たちが本企画・アニメーションという
「夢の中にある現実」を観て、
「自分の意思で生きること」とは何かを感じ取ってほしい、と願っているのです。

また私たちは、子供たちが成長し大人になったとき、
自らの「理性」で「現実の正義と愛」を考えてみてほしい、と願っているのです。

ストーリー・ドラマ的な見せ場

謎解きのおもしろさ

本企画のドラマ中には、個性的なキャラクターたちの日常描写に加えて、正体不明の敵『使徒』を代表に、数々の5W的な要素あふれる謎や秘密等が隠されています。
本編は主人公の少年が、何も知らない所から、物語は始まっています。
つまり観客は、同一視する主人公と共に、いろいろな謎を知り、秘密を読み解かして行くのです。
もちろん、物語の先には、**驚天動地の「意外な事実」や「大どんでん返し」**等が、用意されています。

ゲーム感覚的なおもしろさ

本企画では各種ゲーム的な要素が、本編中にちりばめられています。
例えば、
日本を舞台とした防衛作戦、市街での攻防戦、街そのものの要塞化で
状況に合わせた機体や武器の選択、物語後半に用意される敵本拠地の発見と侵入、等の
シュミレーションやRPGゲーム的なおもしろさ。
加えて、
複数の人型兵器による格闘戦、立体型上の味方機、バラエティ豊かな敵機、
機体の発進口や武器、それにエネルギー補給パック等があちこちに隠され配置箇所、
時間やエネルギー残量を主とした危機的サスペンス、等の
シューティングやアクションゲーム的なおもしろさも内包しているのです。

ビジュアル的な見せ場

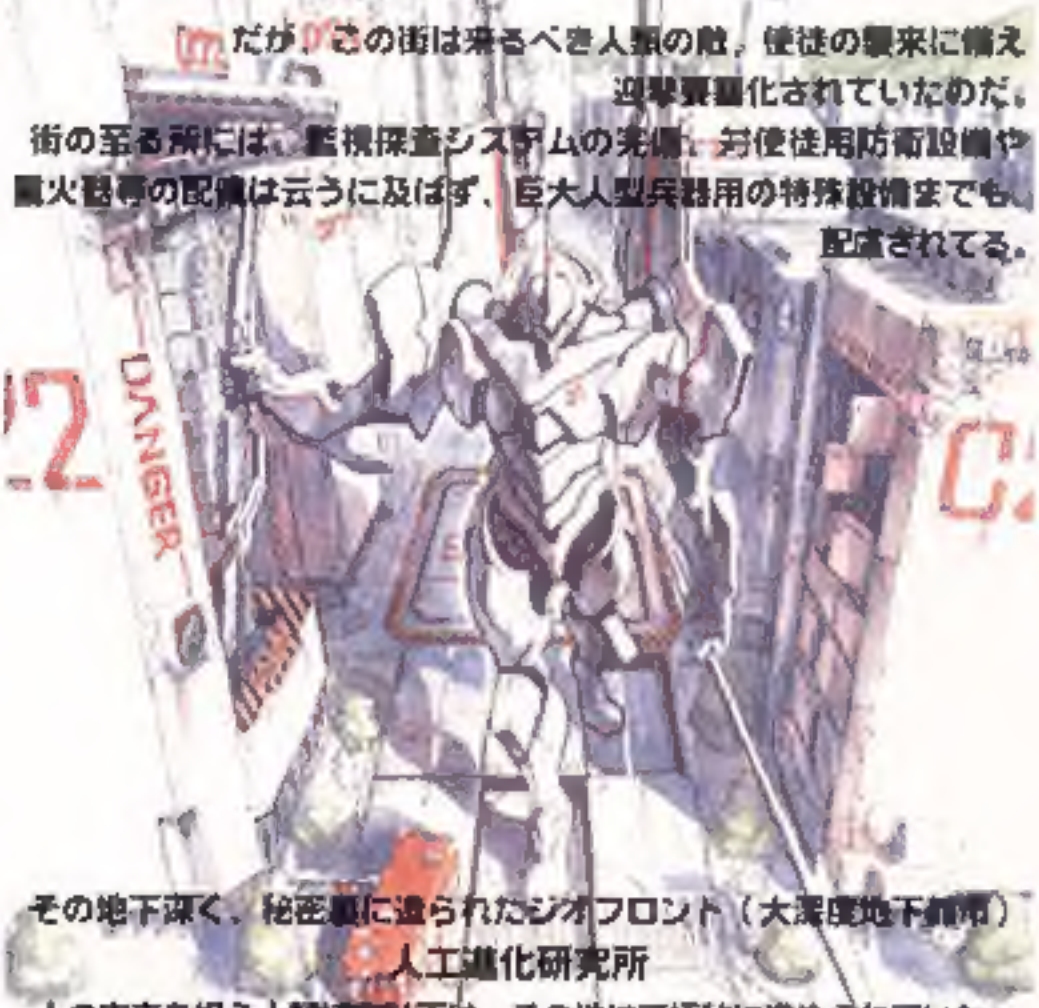
超科学兵器群のイメージあふれる、視覚的面白さ。
巨大兵器のメカニックな魅力あふれる、出撃プロセス。
毎回違う、大都市に隠された秘密発進口の意外性あふれる、発進プロセス。
激突する巨大な兵器同士の迫力あふれる、ダイナミックな戦い。
人間の動きをする巨大人型兵器のスピーディで重量感あふれる、動き。
『使徒』の人間にこだわらないバラエティあふれる、武器とデザイン。
活動限界時間が迫り焦る主人公。緊張感あふれる、ギリギリのタイム・サスペンス。
危機に陥る主人公。手に汗握る、派手なクライマックス。
大逆転。
最後に、カタルシス。

本企画では、今までのアニメに無い
「カッコいいリアリティのある戦闘画面」を目指します。

時は、近未来 西暦2015年
舞台は、要塞化された
計画都市 第3新東京市

第2次遷都計画に従い建設中の静岡県・第3新東京市。
美しい緑の山林に囲まれた、旧市街と高層建築の並ぶ計画都市である。

だが、この街は来るべき人類の敵、使徒の襲来に備え
迎撃要塞化されていたのだ。
街の至る所には、監視探査システムの完備、対使徒用防衛設備や
重火器等の配備は云うに及ばず、巨大人型兵器用の特殊設備までも、
配備されてる。



その地下深く、秘密裏に造られたジオフロント（大深度地下都市）
人工進化研究所
人の未来を担う人類補完計画は、この地にて極秘に進められていた。
この特殊な街を背景に、物語は語られていく。

敵は、『使徒』（アポストロ）と呼称される、正体不明の巨大戦闘兵器群

様々な形態を有し、様々な超科学的特殊能力を持ち、
人類に迫る謎の物体『使徒』。
その正体は、先史知的生命体『第１始祖民族』の残した、
世界各地に眠る古代遺物である。
その数、全28体。
最初に確認された『アダム』は15年前に人類の手により
死海の辺にて発掘され、謎の爆発によりすでに破壊されていた。
あと、目覚めるは27体。

『使徒』には全て、『死海文書』の記述による『天使』の名が命名されている。

迎撃するは、人の生み出した
究極の大型兵器
『EVANGELION』

正式名称

汎用人型決戦兵器『エヴァンゲリオン・試作型』

本編の主役級メカニック群。
それは、全長約40メートルの万能巨大人型兵器。
予測される『使徒』の襲来に備え、特務機関『ネルフ』を中心に
開発、建造された。
実用化までに、天文学的な経費と14年の歳月を費やしている。
現在、人の造り出すことの出来うる、最強の通常兵器。

『エヴァンゲリオン』の特徴

伸縮自在な金属製の人工筋肉により、人間と同様に動くことが可能。
動作の反応速度をも、操縦者が自由に選ぶことができる。

本体である、骨格と人工筋肉で造られた「素体」に、
汎用性のある各種「装甲服」や「特殊装備」を着せることにより
多目的な使用が可能。
つまり、ヘルメットをかぶりグローブを装着する、巨大ロボットである。

通常は有線による電力供給によって稼働しているが、
非常時には内部電源に切り替えられる。
同時に、蓄積容量の問題から約１分しか動けないという弱点を持つ。

後に初号機は、改良され「陽電子機関」を搭載するが、そのシステムも
不安定なため各種の問題を残す。

残念ながら、自力での飛行は不可能。

なお劇中では、数体の『エヴァンゲリオン』同型が、存在。
(第１話終了の時点では以下の通り)

零号試作機　先の戦闘により中破。機体は凍結。
初号試験機　第１話にて初起動に成功、その直後に実戦。
弐号実験機　佐世保より国連軍所属の空母にて移動中。最終調整済み。

３号実験機　米国某所にて建造中。
４号試験機　欠番。爆発事故により消失、建造中止。
５号実験機　独国某所にて建造中。
６号量産機　以下、2016年より建造予定。

その正体は、巨大な人造人間

西暦2000年に勃発した
『死海蒸発事件』（真相は非公開）の際に、
人類により発見された巨大生物兵器、人造人間『アダム』

人類史上最悪の「第1使徒襲来」の時に、アダムより採取した
接触実験を用い（魂の複製を試みて）建造された、人造人間。
それが『エヴァンゲリオン』である。
人工筋肉で構成された「素体」は胎児、水溶液の入ったカプセル
内に保存されており、有事の際には、目的にあわせた「装甲板」
及び「兵装」や「装備」を装着、出撃する。
ただし「エヴァ」の初陣は内臓も揃わず、暴走の際に人々は、改めて
その強力と、恐怖を知ることになる。

操縦者は「マルドゥックの報告書」により選ばれた、3人の少年少女

『エヴァンゲリオン』[illegible]エヴァと操縦者との[illegible]を、主として行われる。
そのために、[illegible]のシンクロ[illegible]の選定が、操縦者選出の際に最重視された。

[illegible]、マルドゥック機関が「[illegible]」[illegible]新精神汚染の[illegible]に基づき、エヴァ操縦適性者の[illegible]するテスト内容と[illegible]方法を提示した[illegible]「マルドゥックの報告書」（非公開）を作成。[illegible]は、14歳で[illegible]不能の少年少女が、『エヴァ』と[illegible]、[illegible]かつ安定した状態で[illegible]することも提示した。[illegible]で、3名の少年少女が操縦者として選ばれたのである。

これが主人公の少年が乗り込む恐るべき力を秘めたエヴァンゲリオン

EVA−01 TESTTYPE 初号機

陸戦用A型装備

ネルフ本部直轄
第1部隊所属
専属操縦者　碇シンジ
本編の主役メカニック

第1話にて初起動に成功。
その後は、破損を負いながらも襲い来る使徒を仲間の弐号機や試号機と共に、次々と撃退してゆく。

だが　第13話にて大破。
改造され敵・使徒から回収した
「陽電子砲筒」を搭載する。

この機体には、量産機の秘密と
真の目的が隠されている。

人類を絶望から救うという『人類補完計画』とは？

人類はすでに、神に抵抗できうる力を手に入れようとしていた。
これが、本編ストーリーの1軸となる、国際的一大プロジェクト
『人類補完計画』である。

半世紀前、核融合に成功し「太陽」を自らの手中に収めた
人類が、次は「完全な人間」を自らの手で造ろうという補完計画。

目的は、神が禁断の「生命の樹の実」を科学的に造りだし、
人間から「死」を取り除き、さらに人の抱える原罪・全ての呪縛
からも、全人類を解放しようというのである。

この計画を提唱し推進するのは主人公の父、碇ゲンドウ。
彼は『人工進化研究所』にて、究極の進化をとげた人の姿を
ひたすら追い求めていた…。

人類を絶望から救うという『人類補完計画』とは？

人類はすでに、神に抵抗できうる力を手に入れようとしていた。
これが、本編ストーリーの1軸となる、国際的一大プロジェクト
『人類補完計画』である。

半世紀前、核融合に成功し「太陽」を自らの手中に収めた
人類が、次は「完全な人間」を自らの手で造ろうという補完計画。

目的は、神が禁断の「生命の樹の実」を科学的に造りだし、
人間から「死」を取り除き、さらに人の抱える原罪・全ての呪縛
からも、全人類を解放しようというのである。

この計画を提唱し推進するのは主人公の父、碇ゲンドウ。
彼は『人工進化研究所』にて、究極の進化をとげた人の姿を
ひたすら追い求めていた…。

ネルフ　総括組織図

委員会統括最高責任者　コンラート・ローレンツ長官。　特務次官　1名

監察委員会本部	日本国	第2新東京市国連本部地下シェルター内
本部	日本国	第3新東京市内　某所
第1支部	米国	某所（ネバダ州内と推測される。）
第2支部	欠損	(エヴァ試作4号機の爆発事故のため、消失。破棄された。)
第3支部	独国	某所

各部局では、エヴァ型兵器の独立した開発・運用が進められている。
ネルフ本部作成した第2次整備計画では、3年以内に新たな施設を
中国と豪州に設置することを予定している。

EVA-00 PROTOTYPE
零号機　B型装備

EVA-02 TESTTYPE
弐号機　B型装備

ネルフ本部　組織図

総部司令長官　碇ゲンドウ　研究部門長兼務
副長　冬月コウゾウ　監察官　姓名不明

ネルフ本部　内部部局

管理部　管理局（一課（人事）、二課（訓練）
課（施設）四課（補給）
戦術作戦部　作戦局（一課（ユニット担当）
科学調査分析部　調査局（一課～六課まで確認済
技術開発部（実験を含む）　技術局（一課（エヴァ素体担当
二課（材質工学担当）
三課（電磁波兵器担当）
四課（誘導兵器兵器担当）
総務部　総務局（一課（会計）二課（広報）
三課（不明）四課（不明）
保安諜報部（委員会直轄　非公開　別室もあり　詳細不明）
特務部（大半は第２研究所に出向）
特殊警備部　研究所施設警備専任
警務部（外部）に対する警察権も所有）

直轄機関　第１研究所（所在地不明）
第２研究所（所在地不明）

付属機関　第１試験場
静岡県第３新東京市
伊代試験場
長野県松代市

エヴァンゲリオン直轄部隊（支援部隊を含む）

第１次整備計画では、研究用設備が最優先とされているため、
現在実戦配備されている唯一の主力エヴァ部隊を保有している。
だが、稼働する素体が予備を含め３体（操縦者は定数４、ギリの３名）
しかいないため、本来、中核となるべきエヴァ部隊は、残念ながらお
第１小隊のみの運用となっている

主な登場人物紹介

碇シンジ　１４歳　男

本編の主人公

巨大人型兵器『エヴァンゲリオン』初号機の専属操縦者

中学2年生。おとなしい優等生。

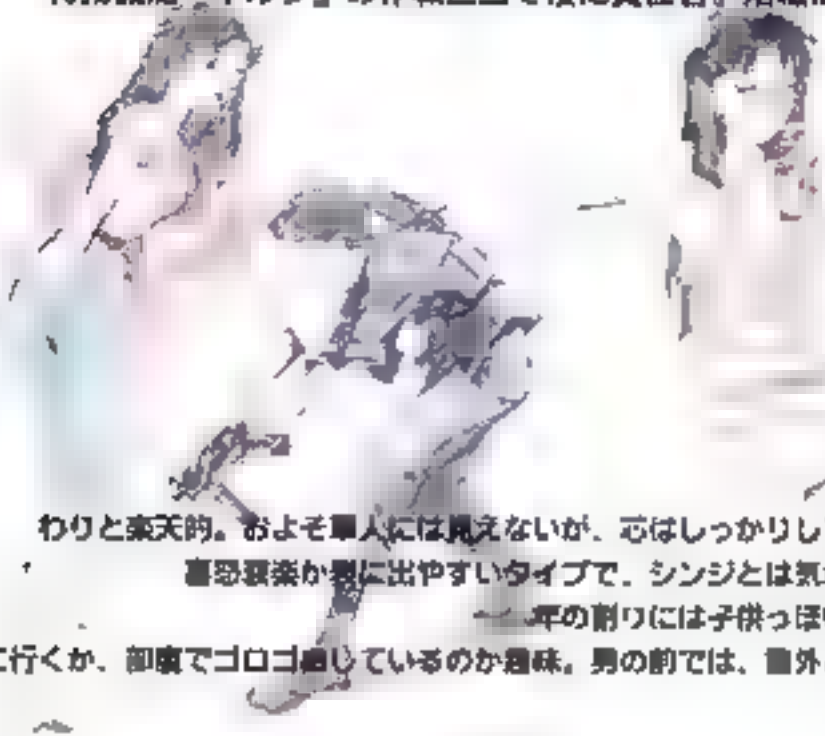
他人に従順することで自分を守っていたが、本編中での様々な事件により成長する。

母親は彼が3歳のとき世界。父親とは離れて生活していた。

彼と彼の搭乗する『エヴァンゲリオン』初号機との関係に、実は重大な秘密が隠されている。

葛城ミサト1尉
29歳　女

シンジの直接の上司、と云うよりは保護者的なお姉さん
特務機関『ネルフ』の作戦担当で後に責任者。階級は一尉。



わりと楽天的。およそ軍人には見えないが、心はしっかりしている。
喜怒哀楽が表に出やすいタイプで、シンジとは気が合う。
一一年の割りには子供っぽい女性。
飲みに行くか、部屋でゴロゴロしているのが趣味。男の前では、意外と強情。

赤木リツコ博士
３０歳　女

巨大人型兵器『エヴァンゲリオン』開発チームの責任者

理知的でクールな女性。

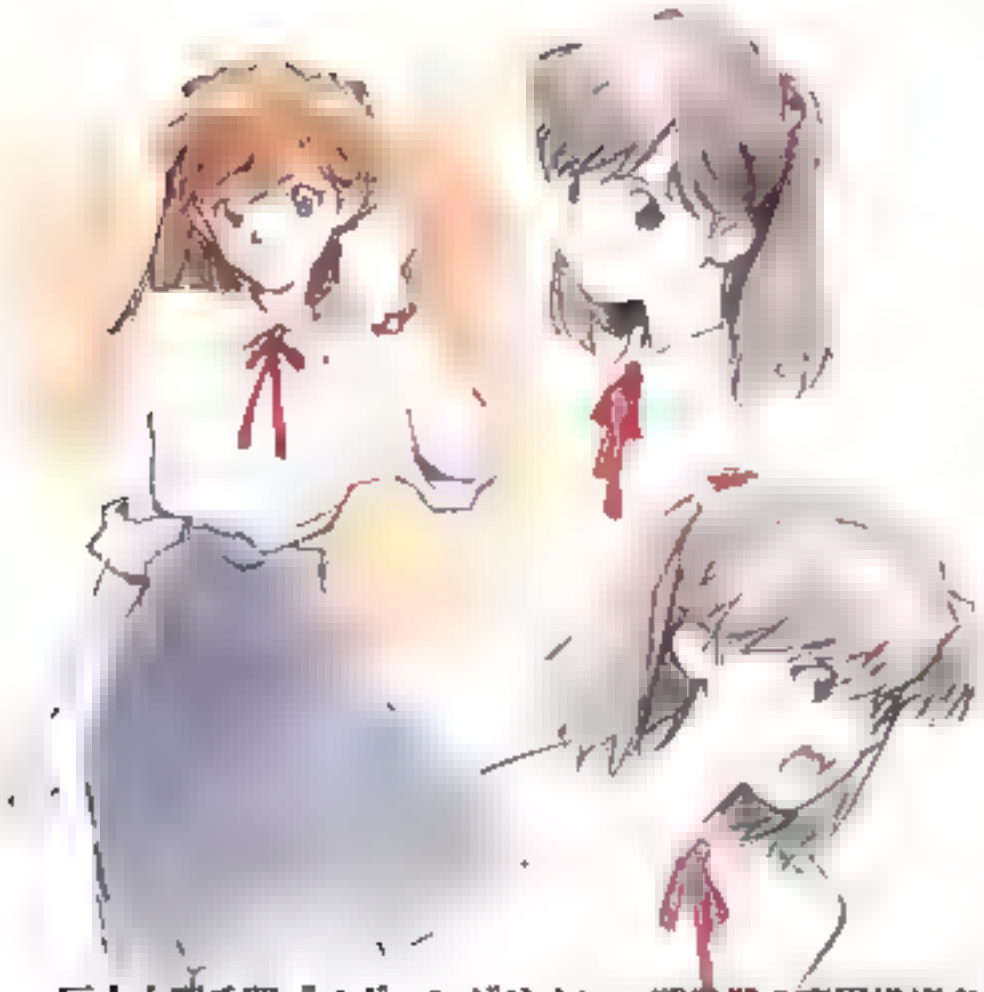
ミサトとは学生時代からの付き合いでケンカ友達。年相応にしっかりした女性。

煙草とバンクロックが趣味。猫を飼っている。男の前では、意外と無口。

碇教授を理解しているただ一人の女性。

惣流・アスカ・ラングレー

１４歳　女



巨大人型兵器『エヴァンゲリオン』弐号機の専属操縦者

開発当初から専属操縦者として特殊教育・訓練されている。

立場上かなりの背伸びを強いられている、無邪気な女の子。

ゲームが趣味。負けず嫌いで　男嫌い。唯一、加持にはあこがれている。

日本とドイツ系アメリカとのクォーター。

母親の母親が独国に在中。（父親とは死別）

転校後は　シンジのクラスメイトでもある。

綾波レイ
１４歳　女

巨大人型兵器『エヴァンゲリオン』零号機の専属操縦者

初戦闘時におけるケガのため、当初は地上勤務。
アスカと同様に特殊教育・訓練されている。
無表情で無口。感情の無いニヒリスト。
人を「好き」になることにより、初めて感情や愛情というものを覚える。
彼女の出生にも、重大な秘密が隠されている。（両親は不在）

碇ゲンドウ教授
48歳　男

シンジの実の父親。初代『人工進化研究所』所長

『人類補完計画』の提唱者であり、最高責任者でもある。

徐々に研究そのものに取りつかれ、目的のためには全ての手段が正当化されるデジタルな人物になって行く。

この計画の行き先には、全ての人々に真の平等をもたらす理想郷があると信じている。

行動や言動に色々と謎の多い人物。

鈴原トウジ　１４歳　男

シンジのクラスメイトで親友。
感情がストレートに出る熱血タイプ。
意外とスポーツは苦手。年上の女性にも弱い。父親は研究所員。妹が一人いる。

相田ケンスケ　１４歳　男

シンジのクラスメイトで親友。
軍事兵器マニアでビデオマニア。
自分の興味のためには　いかなる報酬もいとわないタイプ。
いささか神経質。年上の女性にかなり弱い。趣味は軍事。（特技とは反対）

洞木ヒカリ　１４歳　女

シンジのクラスメイト。
クラス委員長。努力家で地味なタイプ。いわゆる優等生だが、アスカとは気が合う。
姉妹だが　姉の名はコダマ　妹の名はノゾミ。

加持リョウジ　３１歳　男

研究所員。だが他の所員のように国連公務員ではなく、内閣調査室に所属している。
ミサトの昔の恋人。表面的には子供っぽくふるまっているが、実はシビア。
シンジの成長に多大な影響を与える。

コンラート ローレンツ　６７歳　男

国際連合最高評議会所属「人類補完委員会」議長。
ネルフ監察委員会最高責任者（議長）も兼任。
人類補完計画の承認や研究所及びネルフ設立は
この人物の尽力によるところが大きい。
当初は碇所長の良き協力者であったが　最近は会うと口喧嘩ばかりになっている。

冬月コウゾウ　４５歳　男！

ネルフ本部副指令官。
碇所長の良き理解者であり協力者。無口で現実的な人。
ミサトの無茶な作戦が黙認されているのも、この人物の人柄によるところが大きい。

温泉ペンギン　２歳　性

ミサトのペット。
遺伝子操作により人工的に造られた動物。幼児並の知能を持つ。
普段は台所の大型冷蔵庫の中に住む。何故か、温泉が好き。

ドラマ及びストーリー展開
(全２６話)

第１話「再会する人々」

のどかな山と緑の一部を行く２両編成の電車
車内には十人余の少年・少女シンジの姿があった
彼は父親に呼ばれ、第３新東京市に向かっていた。
が、突然急停車する車両。
山に木霊する警報音。
全市に発令される非常事態。
地殻から姿を現す、２体の巨人。
降車したシンジの目前で繰り広げられる巨人同士の格闘戦。
彼を救う、葛本ミサトの登場。
戦闘は、機械的な巨人「エヴァンゲリオン零号機」が
かろうじて敵を撃退し、収拾される
湖に沈降していく金属的な巨人「使徒・ラミエル」。
ケージへ回収される半破した零号機

ミサトの案内で街の地下深く造られた人工進化研究所へいくシンジ
リツコやレイとの出会い。
数年ぶりの父親との再会。

エヴァンゲリオン初号機と対面するシンジ。
彼は、その操縦者として選ばれたことを知る。

再度上陸する謎の敵、使徒『ラミエル』
初号機の出撃準備が進む中
何もわからないまま父親や大人たちに従い操縦席に座るシンジ
結果、満足に歩くことも出来ないまま、迎撃に出る初号機。

深夜の要塞都市、第３新東京市で対峙する２体の巨人
その直後、人々は、自らが造り出した『エヴァ』の持つ力に愕然とした。

第2話「見知らぬ、天井」

敵との戦闘中に制御不能となるエヴァ。それが予定以上の力を発揮する。
シンジの切れた精神が敵を撃破したのだ。その後のエヴァと使徒襲来に対する人々の反応。シンジにとって、見知らぬ土地での知らない人達との新しい生活。
蘇る戦闘の恐怖。ミサトとシンジの交流。

第3話「初めてのＴＥＬ」

シンジの転校。そこで出来る、初めての親友。
第３新東京市での大規模な迎撃作戦。

第4話「１４歳、始まりの日」

シンシの誕生日。息子への祝いの言葉を持たぬ、父親。
シンジを想うミサトの決意。
特務機関『ネルフ』の人々のドラマ描写。

第5話「レイ、心のむこうに」

レイとシンジの交流。巨大な力を見せる使徒の恐怖。
エヴァの敗北。危機迫る、研究所。

第6話「決戦、第３新東京市」

人類対使徒の総力決戦。エヴァの逆襲。ネルフの人達を少し理解するシンジ。

第7話「人の、造りしもの」

民間企業により実用化されたエヴァ以外の人型兵器。
その実験模様。ネルフの疎外感。

第8話「アスカ、来朝」

アスカとエヴァ弐号機、そして加持の登場。戦艦対巨大ロボット。
空母甲板上での格闘戦。

第９話「瞬間、心、重ねて」

初の水際迎撃作戦。シンジとアスカの交流。２体のエヴァによる連携戦闘。

第１０話「静止した、闇の中で」

機能停止してしまった研究所。
電力を失った現代文明の脆さ。
使徒迎撃へのタイム・サスペンス

第１１話「マグマ・ダイバー」

使徒に対し、初の攻勢を見せるネルフ。
使徒殲滅のため特殊装備で溶岩内に潜るエヴァ。
灼熱のマグマ内での戦闘。

第１２話「１８秒の奇跡」

第３新東京市へ飛来する[illegible]の使徒に大苦戦。
絶体絶命の危機。ミサト達の捨て身の作戦。

第１３話「恐怖の後に来るものは」

増長したシンジを待ち受けていた大敗北。大破するエヴァ初号機。
機体内に閉じ込められるシンジ。

第１４話「死に至る病、そして」

大破した初号機からの救出劇。極限状況での人間ドラマ。
真の恐怖を知り、絶望を味わうシンジ。

第１５話「シンジ、ふたたび」

放心状態からふたたび、自分の意志でエヴァに乗るシンジ。
大改造される初号機。

第１６話「敵の心の中で」

敵に捕獲され、初めて使徒と会話を交わすシンジ。
使徒の目的等一部が解明する。

第１７話「アスカ、初デート」

初めて遊園地に行くアスカ、ミサトの昔話など全編これ、ラブコメ話。

第１８話「命の、選択を」

使徒の謀略により、親友の乗ったエヴァ３号機と戦うシンジ。彼の取る選択。

第１９話「男の、戦い」

シンジをかばい重傷をおってしまうアスカ。
彼女に対し、男、を自覚するシンジ。エヴァ初の空中戦闘。加持の死。

第２０話「ネルフ、誕生」

独国から届くエヴァ５号機。
１５年前の回想話。
ベ ルを脱ぐ光海惨発事件。ネルフやエヴァの開発秘話。
シンジの父親の話。

第２１話「せめて、人間らしく」

海底で朽ち果てた戦艦を舞台にした水中戦。敵の精神攻撃を受けるシンジ。
シンジの母親の話。

第２２話「猫と転校生」

初登場する等身大人間型の使徒 猫を連れた美少年。
研究所内の侵入を許してしまうネルフ。人型使徒の破壊に苦悩するシンジ。
明らかにされる研究所の隠された秘密。

第２３話「人類補完計画」

明かされるエヴァ『人類補完計画』の秘密。
リツコと父親の真の目的も知る。

第２４話「今、契約の時」

倒れるレイ。
明かされる彼女の秘密。
ついに目覚め　月より飛来する使徒の２使徒。
米大陸ごと暴発してしまったエヴァ６号機。
その圧倒的な力の前に、無力を自覚する人間。
人が無い 還る、契約の時が迫る
絶望のＮＥＤＥの人間ドラマ

第２５話「アルカ、約束の地」

キ　となっている
古代遺跡『アルカ』
縛する研究所。
１２使徒を止めるため、
『人類補完計画』を破棄
その破壊を決定する
反対する父親。
レイのため研究所に留まるシンジ
異なった目的のため、衝突する
人間たちのドラマ。

最終話「たったひとつの、冴えたやり方」

結局である。
破壊された研究所を舞台に
全ての謎とドラマに決着がつく。
ラストは大団円。

イメージボードによる
ビジュアル的な見せ場

使徒・ラミエル（雷の天使）

全長３００メートルの巨体を宙に浮かせて　第３新東京市上空に侵入してくる。
最大の武器は、射程距離２０キロを誇る、全方位型電子ライフル。
その威力は　一発でエヴァの装甲を貫通する。ちなみに　これはネガフィルム。

出撃準備中のエヴァ初号機

搭乗者はこのコックピットシリンダーの扉から座席へ乗り込む。
格納庫でのエヴァは暴走を押さえるために、両肩の大型バイロンを板状のガントリーが前後から挟み込む形で拘束されている。

地上発進口へと
高速輸送中の、エヴァ

作戦に合わせた最適の位置から発進するために、輸送用の地下トンネルが造られている。
両肩の大型バイロンを使用してリニア・レールを高速移動。
トンネルは2層式で、下は軍道となっている。

戦場となる第3新東京市

ビルに格納されている専用ライフルを手に　先導車の後を進む初号機。良に見えるのが　発進用の大型昇降機。道路はエヴァの重量を支えるため、ブロック状のアブソーバーになっている。
このように要塞化された街の要所要所には、各種兵器や予備エネルギーパック、充電用の大型ソケット等が、非常時に備え配備されている。

第3新東京市上空を舞う、
使徒・サハクィエル（空の天使）
どこまでも伸び光学兵器をも跳ね返す
伸縮自在の薄い板状の体が
最大の武器。
それにより、反射されたレーザーが
逆にエヴァを襲うことになる。
中央に光る球状の物体が　制御本体と
思われる。

右手にあるのが　高周波ナイフ。
半透明の極振動刃が　火花をあげ　敵
をバター　ナイフの様に切断する。
左手に装備されている　照準用の全周
波レ　ザー発振機が目標を捕捉。連動
した両腕から　虹色のレ　ザ　が発射
され、敵を殲滅する。

新たなイメージ　ナイトシーンでの戦闘

両肩はミサイルランチャー等の大型パイロンの他、　サバイバル　ツ　ルのような
武装ポットも兼ねている。

装甲服と装備を強制排除するエヴァ初号機

パージされたパーツの隙間から「素体」と呼ばれる本体が見える。人工筋肉等全ての機能は電力により移動。エヴァは単なる兵器道具として描かれるわけではない。

２０年後のリアルな近未来都市を背景に繰り広げられる、少年たちと大人たちのドラマの、重要な鍵となっている。

初号機別デザイン Bバージョン　同左 Cバージョン

ドルフィンキックを使い、水中を高速で移動する使徒。

使徒　サキエル（水の天使）

陸海両用の、人型戦闘兵器。

水圧を使い、近づく敵は変形自在の両腕で切り裂く。
その威力は、エヴァの装甲を軽く貫いてしまう。
劇中では、専用空母にて太平洋上を移動中のエヴァ弐号機に襲いかかる。

高空を舞う、使徒　アラエル（鳥の天使）

空中戦用の、鳥型戦闘兵器

半透明の１２枚の翼をひろげ、宙を自在に移動する。
最大の武器は、翼端の高周波ソード。
陸戦兵器であるエヴァは、大苦戦を強いられることになる。

使徒　シャムエル（大気の天使）

生エネルギーが結晶の形まで凝縮された
光子戦闘兵器

浮遊するクリスタル状の本体は
あらゆる攻撃・障壁を吸収し
エネルギーへと変換する。
体内に蓄積されたエネルギーは
光力線・電磁波・熱気・動圧と
形を変え、体外に放出される。

使徒　トウレル（神官の天使）

どこまでも敵を追い詰め自爆する、大型自動爆弾

外界からのいかなる攻撃を跳ね返し、狙われたものに確実な死をもたらす
ゆっくりと飛来する姿は、第３新東京市を恐怖と絶望に陥れる

以上が、本企画の概要です。

このように私たちは、

システムの中の人間、組織と人間の有り様

を描きます。

現在、社会全体で失われつつある、他人とのコミュニケーション。
家族や組織（学校）内での人間関係が、今や崩壊しようとしています。
視聴者は、主人公の眼を通して、家族、友人、大人、社会との
コミュニケーションとは、何なのか？　を考えていきます。
子供たちは、もはやマンガとゲームの中でしか、社会的擬似体験を知りません。
だからこそ、本アニメーションを観て、マンガやゲームでは味わうことの
出来ない「人の連なり」や「感動」等、**フィルムならではの「おもしろさ」**
を知ってもらいたい、と考えています。

また、私たちは、

斬新なイメージで、巨大ロボット同士の戦闘

に挑戦します。

不可視及びスペクトルレーザーや高周波ナイフ、使徒を破壊できる最後の武器
「ロンギヌスの槍」等の、**多彩な新兵器。**
山稜や田園等の美しい日本の自然や特殊な街並多用されるナイトシーン等の、
新しい舞台。
アニメーションが持つ**動きの、気持ち良さ。**
これまでにないビジュアルイメージを持った戦闘シーンの数々。

私たちは、

９０年代後半にふさわしい
新たな時代のロボットアニメーション

を目指しているのです。

企画・原作　株式会社ガイナックス